

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

| 事業名称   |   |                          | 実施主体   |      |   |  |
|--|---|--------------------------|--|------|---|--|
| 区民と協働した多職種連携健康づくり推進事業  |   |                          | 南保健センター  |      |   |  |
| 事業目的   | 事業効果  | 活動指標                     | H29  | H30  | R1  |  |
| 区民と南保健センターの多職種(保健師・管理栄養士・歯科衛生士等)が協働して多面的な健康づくりの取り組みを実施することで、ソーシャルキャピタル(地域コミュニティ組織等の社会資本)を豊かにし、地域力を高めるとともに区民の健康レベルの向上につなげる。 | 健康づくり推進委員会と健康に関する課題等について、情報交換や共有を行い、啓発等を協働して実施することにより、健康づくりに関する情報の届きにくかった区民にも伝えることができる。南区ふれあいまつりの場を活用することで、幅広い世代に情報発信していくことができ、地域住民全体の健康への関心を高め、区民の健康レベルの向上につなげる。                       | 健康づくり推進委員会活動に参加する自主グループ数 | 31   | 35   | 32  |  |
|  |   | 南区ふれあいまつりの来場者数           | 1011   | 1411 | 1353  |  |
| ①妥当性   | ②協働の視点  | ③インパクト                   | ④効率性   |      |   |  |
| ○  | 健康さかい21(第2次)、南区まちづくりビジョンに沿った事業である。  | ◎                        | 健康情報の啓発のみでなく、血管年齢測定器を活用することで保健センター・区役所来所者への健康への興味を持ってもらうことができた。  | ○    | ふれあいまつりで実施することにより、普段保健センター事業で出会うことができない層に健康啓発を行うことができた。 |  |
| ⑤自立発展性   | 総合評価  |                          |  |      |   |  |
| △  | 協働して多面的な健康づくりの取り組みを実施することを目的としている。今後、区民自ら更なる企画や情報発信ができるよう支援が必要である。  | ○                        | 健康づくりの啓発機会が希薄で健康に関心の低い青壮年層に興味をもってもらいきっかけづくりのために、南区ふれあいまつり等のイベント時に健康チェック、情報提供の場を設置したことで、普段の保健センター事業で出会うことの少ない世代に啓発ができた。 |      |   |  |
| 今後の方向性(課題、改善提案等)   |   |                          |  |      |   |  |
| 拡充<br>継続<br>見直し<br>廃止  | 健康づくりの主体は市民であり、南保健センターの多職種(保健師・管理栄養士・歯科衛生士等)が協働して多面的な健康づくりの取り組みを実施することは重要である。今後も啓発機会が希薄で健康に関心の低い青壮年層に興味をもってもらいきっかけづくりのためにも南区ふれあいまつり等のイベント時も活用し気軽に健康チェックでき、自分の健康に関心をもってもらえるような企画を検討していく。 |                          |  |      |   |  |